

研修会参加報告書

会派名：財政健全課

1. 研修の概要

- (1) 目的 人口減少対策について学ぶ
- (2) 日時 2026.3.27(金)10:00~12:30
- (3) 場所 京都JAビル
- (4) 参加者 杉浦 功記



2. 研修内容

テーマ：データで読み解く人口減少対策

講師：足立泰美氏（甲南大学経済学部 教授）

◇足立氏からレジュメに沿った講義

- ・雇用環境状況、およびその変化と賃金動向といった社会背景の確認
- ・若年層を取り巻く就業環境、および収入と婚姻率といった社会経済状況の確認
- ・雇用政策および結婚支援政策といった近年の若年層向け政策の確認
- ・20代、30代が結婚、出産を決断できる状況といえるのか、そしてそれは個人の問題ではなく社会構造の問題かもしれない
- ・安定して積み上げるキャリアから、転職を伴う不確実なキャリアを歩む人が増えている
- ・そうした社会構造に対応すべく実施される政策が果たして本当に有効なのか、議員が判断し決断できるようになる必要がある
- ・納税の観点から生涯収入をなるべく増やしてもらう必要があり、そのためには結婚、出産を経ても仕事を辞めずに続けてもらう必要がある



3. 所感等

社会的な構造として、若い世代が結婚、出産を決断しにくい状態にあることがデータとして分かった。けれど、少子化とは無縁だった昔はもっと状態は悪かったはず。それでも子どもがたくさん生まれていたのだから、社会構造をいくら変えてもキリがないようにも感じる。様々な人口減少対策が打たれているが、果たしてその政策が本当に有効かどうか見極めることが必要だと思った。

項目	支出金額	備考
研修費	15,000 円	参加費
研修費	15,500 円	旅費等
合計	30,500 円	